

障がいのある子どもと

よければ いっしょに 家族写真

NPO 法人 ビレッジ

2025年12月20日(土)

2026年1月17日(土)

2026年2月21日(土)

@西宮市総合福祉センター

2026年1月24日(土)

@はんしん自立の家



これまでに撮影した「家族写真」や撮影の際の様子は
こちらでご覧になれます▶



企画意図

- ▶家族写真が飾られた家の子は「自分は大切にされている」と自己肯定感が高まるという心理学者の研究結果がある。
- ▶障がいのある子どもにとっても将来に向けた自立訓練、職業訓練に取り組むうえで自己肯定感は重要となる。
- ▶家族写真は親にとっても、ふと見て力をもらえたりする。
- ▶動きが大きい、初めての場所が苦手、じっとしていることが難しいなど、子どもの行動特性から通常の写真撮影スタジオで「家族写真」を撮影することを諦めている家族が多い。
- ▶家族写真を安心して撮影できる機会を作り出し、家族の幸せを増進する。
- ▶勉強会などにはなかなか参加してもらえない家族との接点をつくり助け合えるネットワークの拡大につなげたい。

撮影

水本光：介護福祉士・フォトグラファー。
趣味のカメラで役に立つ事をしたいと勤務していた介護施設の利用者さんの写真撮影をした経験をきっかけにフリーのカメラマンとしても活動を開始。2023年に出張型の写真館のんびり写真館を立ち上げ、福祉施設やホスピスなどを中心に出張写真館を実施。

感想

- ▶家族みんなで写真を撮る機会がなかったので今回、素敵な写真を撮っていただいて本当に嬉しかったです。カメラマンさんやボランティアの方々が子どもの笑顔を引き出そうとしてくださってありがたかったです。とてもいい体験できました！
- ▶過去にも何度も他社で撮影しましたが娘の障がいを「どうしてこうなったんですか？」って聞かれて返事に困ってました。
- ▶のんびり撮影していただきました！あとスタッフの方みなさん男性で、ふわーとした雰囲気空気感が良かったです。
- ▶息子は視覚的に流れが分るとスムーズに行動できます。なので、次回からは『写真撮る 選ぶを3回する、みんなで写真をあらず、お金を払う』を前持って具体的に伝えてから参加させてもらおうと思いました！
- ▶子供気持ちを優先して、嫌がらずに良い表情で撮影できるよう色々と考えてくださって柔軟に対応していただけた。
- ▶障害のある兄のペースを保ちながら妹の気持ちも高めていただけてとても素敵な兄妹写真が撮れました。
- ▶福祉センターは慣れた場所で、いつも行ってる所だったので息子の不安は少なかったと思います。普通にスタジオとかに行っても写真を撮るとかは難しいな思ってた諦めていましたが今回このようなイベントがあると知って「これならいけるかも！」と思えて参加させてもらいました。とても満足です。
- ▶一般の写真館では、子どもの特性に気を遣い、親も子どもも疲れてしまうことが多いですが、こちらは短い時間でリラックスして撮影していただくことができ、よかったです。

➡満足度4.92点（5点満点）

➡次回もぜひ参加したいと答えた人は92.8%